

くにたちの教育

第168号

発行・編集 / 国立市教育委員会

〒186-8501 国立市富士見台2-47-1
https://www.city.kunitachi.tokyo.jp/
電話 (576) 2111 FAX (576) 3277

幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の連携推進事業を進めています

幼稚園・保育園・認定こども園・小学校が円滑に接続できるよう、国立市教育委員会では、子ども家庭部や社会福祉法人くにたち子どもの夢・未来事業団と連携し、推進会議を立ち上げ、幼保小連携の在り方について令和2年度から議論を深めています。

推進会議には国立第四小学校・国立第二小学校を中心に、近隣の国立市立西保育園・国立保育園・東立川幼稚園が参加し、白梅学園大学の先生方のご助言をいただきながら研究を進めています。

現在、推進会議では、図の通り3つの柱を設け、就学前教育の遊びを通じた総合的な学びから、小学校教育の各教科等の特質に応じた系統的な学びへどのように接続できるか協議を重ねています。柱①は、幼稚園・保育園・認定こども園等の園の教育で育んできた力をどのように小学校教育に接続することができるかを研究する内容です。柱②は、入学当初（主に4月）の小学校教育のカリキュラム改善です。そして柱③は、円滑な小学校への接続のため教職員同士や、園児・児童同士がどのように相互理解を図れるか、計画的な連携プログラムを作成する内容です。

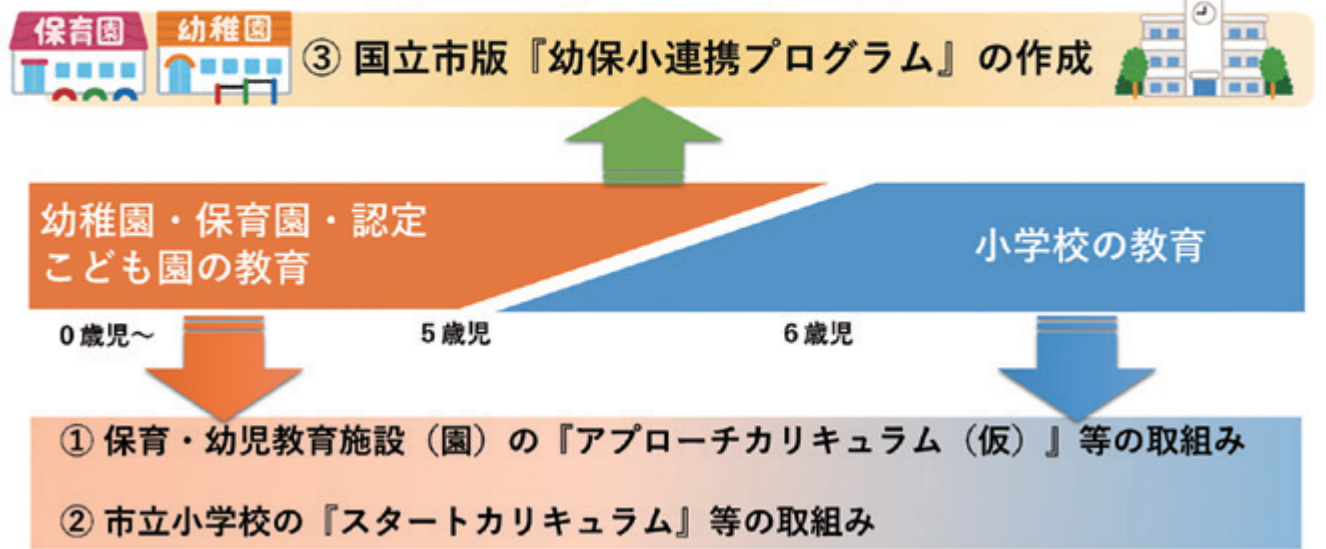
令和4年度からは、まずは柱③を推進するために、市内の幼稚園・保育園・認定こども園を、市立小学校を中心に8つのグループに分け、連携推進事業をスタートしています。

今後は、推進会議でまとめた成果を園や小学校に広げていくとともに、各教育機関の教育の充実を子ども家庭部や社会福祉法人くにたち子どもの夢・未来事業団と連携し支援していきます。

教育指導支援課

研究の大きな3つの柱

幼保小の接続期の円滑な接続



田植えを行いました

国立市では、毎年、農業委員会、JA東京みどりの協力のもと、市立小学校の5年生全員を対象に、稲作体験学習として田植え(6月)と稲刈り(10月)を実施しています。

6月21日(火)は田植え作業を行いました。曇り空でしたが、児童は農業委員会の皆さんの指導を受けた後、手にした苗を一束ずつ丁寧に植えていました。初めて触れる田んぼの土の感触に戸惑う児童もいましたが、転ばないようにゆっくりと田んぼの中を進み、事前学習で学んだ田植えの大変さや成長への期待を込めて活動に取り組みました。本年度は、種まき後少し気温が低かったこともあり、15センチほどの苗でしたが、秋には、大きな稲穂となることを願っています。

活動の事前事後学習では、農家の方を交えて話を聞き、農業従事者の食に関する思いや願いについて知ることを通じて、学習の充実を図っております。今後も、国立市の自然を生かしたこのような活動を、様々な立場の方々のご協力をいただきながら継続した事業として位置付けるとともに、各学校における教育内容の充実を図っていきます。

教育指導支援課



日光移動教室を実施しました



6月8日(水)から2期に分け、市立小学校6年生が2泊3日で栃木県日光市を中心に移動教室を実施しました。ここ2年間は新型コロナウイルス感染症の拡大期であったため、12月に延期となっておりますが、今年度は3年ぶりに6月に実施しました。

宿舎やバス、見学施設等で十分な感染症対策を講じていただき、安心して活動に取り組み、充実した日光移動教室となりました。

緑輝く時期の実施となり、涼しい気温のなか湯ノ湖周辺を散策したり、日光東照宮では先人の苦勞や偉大さを感じたり、充実した活動になりました。歴史・文化・自然を大いに感じ、またキャンプファイア等を通じて友達との絆を深めた時間は、子どもたちにとってかけがえのない思い出となりました。

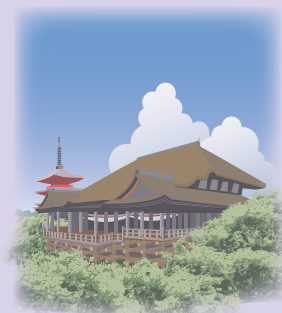
教育指導支援課

修学旅行を実施しました

5月に国立第二中学校・6月に国立第三中学校の3年生が、奈良・京都方面へ、2泊3日の修学旅行を実施しました。

修学旅行では、古都の歴史・文化・伝統に親しみ、班行動をはじめとする集団行動を通して社会性、協調性、規範意識を養い、互いに思いやり、協力し合い、友情を深めるなど、思い出に残る宿泊行事になりました。

国立第一中学校の3年生は、9月に奈良・京都方面へ行く予定です。



教育指導支援課

魅力ある学校づくりを推進しています

国立市の「国立市人権を尊重し多様性を認め合う平和なまちづくり基本条例」に基づき、教育委員会では「児童・生徒一人一人を大切に」を基本方針としており、学校生活に困難さや悩みを抱えている児童・生徒の状況を把握し支援したいと考えています。しかし現在、学校が抱える諸課題は多岐にわたっており、教員が今までの経験のみで適切な支援をすることが難しくなっています。

そこで、これまでの複数の教員による日常の観察や面接に加え、令和4年度から児童・生徒を多面的に理解する資料となるQ-Uアンケートと教育カウンセリングの手法を実施することで、いごちのよい魅力ある学校づくりを推進していきます。

Q-Uアンケートは、児童・生徒の学級生活での満足感と意欲、学級集団の状態を質問紙によって測定するものであり、児童・生徒一人一人についての理解と対応方法、学級集団の状態と今後の学級経営の方針をつかむことができます。



▲教職員研修の様子

【これまでの流れと今後の予定】

～ 検討した対応策を各教員が日常の教育活動の中で実践 ～

4月	5月	6月	9月	10月	11月	1月
・全教職員に向けて講演会を実施	・学校生活満足度調査研修会を開催 ・全校においてQ-Uアンケート(1回目)を実施	・アンケートの結果を踏まえ、講師を交えた校内研修を実施 ・教員によるアンケート結果を踏まえた具体策の検討	・学校生活満足度調査研修会を開催	・全校においてQ-Uアンケート(2回目)を実施	・1回目の結果からどのように変容したのかを把握 ・アンケートの結果を踏まえ、講師を交えた校内研修を実施 ・教員によるアンケート結果を踏まえた具体策の検討	・学校生活満足度調査研修会を開催

Q-Uアンケートは、来年度以降も継続して行う予定です。現状把握、原因分析、対応策を繰り返し、児童・生徒にとって、「いごちのよい」「やる気のでる」クラスづくり、魅力ある学校づくりを推進してまいります。

教育指導支援課

旧本田家住宅復元への道 ～解体現場レポート～

旧本田家住宅主屋解体の中間報告

令和3年秋から行っていた建物の解体が柱や梁などの軸組みまで終わりました。創建当初の江戸から昭和に至るまでの建物の改変の調査を行い再築するため、部材一つひとつを丁寧に外しながら作業を行いました。解体された部材は、解体現場と旧国立駅舎の部材が保管されていた保管庫にて、大切に保管されています。



▲解体前の西側からみた大黒柱



▲解体中の西側からみた大黒柱

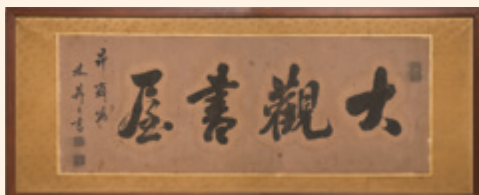


▲解体が進み西側からみた大黒柱

年度	これまでの出来事と今後のスケジュール
平成23(2011)年	国立市による主屋内歴史資料調査開始 国登録有形文化財(建造物)登録
平成28(2016)年	主屋、表門、土地、資料を寄贈いただく
令和元(2019)年	保存活用計画策定 東京都指定有形文化財(建造物)指定
令和2(2020)年	旧本田家住宅解体復元工事基本設計
令和3(2021)年～ 令和5(2023)年	旧本田家住宅復元工実施設計 旧本田家住宅解体等工事・調査
令和5(2023)年～ 令和7(2025)年	旧本田家住宅復元等工事

本田家旧蔵資料を紹介します！

扁額「大観書屋」は「幕末の三筆」の一人である市河米庵が、第10代当主・本田昂斎に贈ったものとされています。昂斎は米庵の書塾に入門しており、江戸の著名な文人たちと広く交流関係をもっていました。そして「大観書屋」とは旧本田家住宅のことを意味しています。第9代当主・本田随庵が称した号に「大観堂」とあり、これがのちに本田家の屋号となります。



▲扁額「大観書屋」

旧本田家住宅主屋解体後、埋蔵文化財調査を行っています



▲発掘調査の様子

解体工事にて建物の部材から時代毎の痕跡を発見し、住宅の変遷を調査していますが、それだけでは不明な点を発掘調査にて解明するべく、また周辺に古墳などの遺跡もみられるため、解体現場の埋蔵文化財発掘調査を行っています。

【速報】発掘調査で見つかった資料の一部を紹介します！



主屋の押入れの天井裏から祈祷札や繭、養蚕定規などが新たに見つかりました。祈祷札は木札と紙札が藁縄で束ねられ、中には嘉永5年(1852年)の銘のあるものや安楽寺のものがありました。建物の変遷を考える上で重要な根拠となるかもしれません。

◀新たに発見された祈祷札



▲中2階解体のようす

壁下地から発見された墨書

壁の解体工事は表面から順に壁材を剥がして確認しながら進めました。ゲンカン上部には中2階があり、その真っ黒に煤けた壁紙の下地から墨書が確認できました。国立市文化財保護審議会の長田委員によると、配剤録(処方箋)の類のようです。第9代当主・随庵や第13代当主・覚庵の書いたものかもしれません。今後の調査にご期待ください。

生涯学習課

総合型地域スポーツクラブ「くにたちエール」がスタートしました

4月23日(土)に、国立市に新しく総合型地域スポーツクラブ「くにたちエール」が誕生しました。

子どもからお年寄りまで、市民の誰もがさまざまな種目を気軽に楽しめる、そして地域に貢献できるクラブを目指しています。

教育委員会ではこれまで設立支援を行ってきましたが、今後は運営支援を通して、市民スポーツの振興に繋げていきます。

【くにたちエールの由来】

「エール」という名称はスポーツを通じて市民の健康や生涯スポーツ、文化活動を「応援する」という意味からつけました。

【参加するには？】

入会届をくにたちエール事務局に提出し、年会費を支払うことでくにたちエールの会員となり、各プログラムに参加できます。

年会費(保険代金) 大人 3,000円
子ども(中学生以下) 2,000円

※別途プログラムごとに参加費があります。

【活動内容】

くにたちエールでは子どもから大人まで楽しめる7つのプログラムをスタートしています。現在、その他のプログラムも企画中で、準備ができ次第スタートしていきます。

プログラムの詳細や活動状況などはホームページなどでお知らせしていますので、ぜひご覧ください。

▶ https://www.c-sqr.net/c/kunitachi_yell

【問い合わせ先】

くにたちエール事務局(富士見台2-48-1(市民総合体育館地下1階))

電話: 070-8548-9117

メール: kunitachi.yell@gmail.com

※窓口受付時間: 毎週水曜日 午後2時～5時
日曜日 午前9時～正午

(この時間以外はメールでお問い合わせください。)



▲設立総会



▲旧国立駅舎でのPRイベント



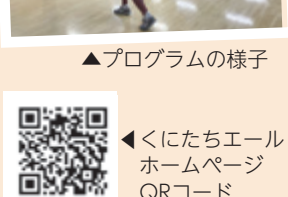
▲親子体操



▲パズル&クイズ



▲ダイエット道場



▲プログラムの様子



◀くにたちエールホームページQRコード

生涯学習課

令和4年度(令和5年1月実施)

くにはたちの集い(旧成人式)の準備会メンバーを募集しています!!

令和5年1月9日(月・祝)に開催されるくにはたちの集い(旧成人式)に向け、準備会メンバーを募集しています。

準備会では、くにはたちの集いで実施する企画の内容を決めたり、当日参加者に配布する冊子のデザインを考えたりするなど、開催に向けた準備を行います。

過去の準備会では、記念映像の制作やじゃんけん大会などを企画しました。準備会は8月末ごろから活動し、月に2回程度集まって活動します。

今まで関わることのなかった同世代の方々と出会い、みんなで協力して一つのことを成し遂げる経験ができます。

メンバーの対象は、平成14(2002)年4月2日から平成15(2003)年4月1日生まれの方です。

関心のある方はお気軽に、8月15日(月)までに電話かメールで下記へお申し込みください。その際、①氏名(ふりがな)②生年月日③電話番号④出身小学校・出身中学校を確認します。

メール: oubo_shogaigakushu@city.kunitachi.lg.jp

生涯学習課



▲昨年度準備会の様子



▲当日のじゃんけん大会



▲申込み用メールフォーム

多様な学びを伸ばす環境整備について検討しています

子ども家庭部と連携し、新たな不登校対応として「多様な学びを伸ばす環境整備」を進めています。現在、協議会やテーマ別の部会を設定し、「学校での支援に加え、福祉を軸にした当事者や家族への寄り添い」「地域団体や民間等によるつなぎ先の開拓・関係の構築」「学校・児童福祉が連携した当事者の自立プランの検討」等について、支援の実現に向けて検討を重ねているところです。

内容等については今後、児童・生徒、保護者、地域の皆様へ周知する予定です。

教育指導支援課

